株式会社インフォネット

STOCKCODE:4444

2020年3月期 第3四半期決算説明資料

















infoNet.

1. 2020年3月期第3四半期決算概況

p.3

2. SUMMARY

p.14

3. 予算修正

p.17

4. TOPICS

p.20

之。 2020年3月期第3四半期 決算概況

CMS事業

第3Q累計売上高 443,697千円 を達成

AI関連事業

月額利用収益発生に伴い 前期を上回る 第3Q累計売上高 13,457千円の 大幅増加



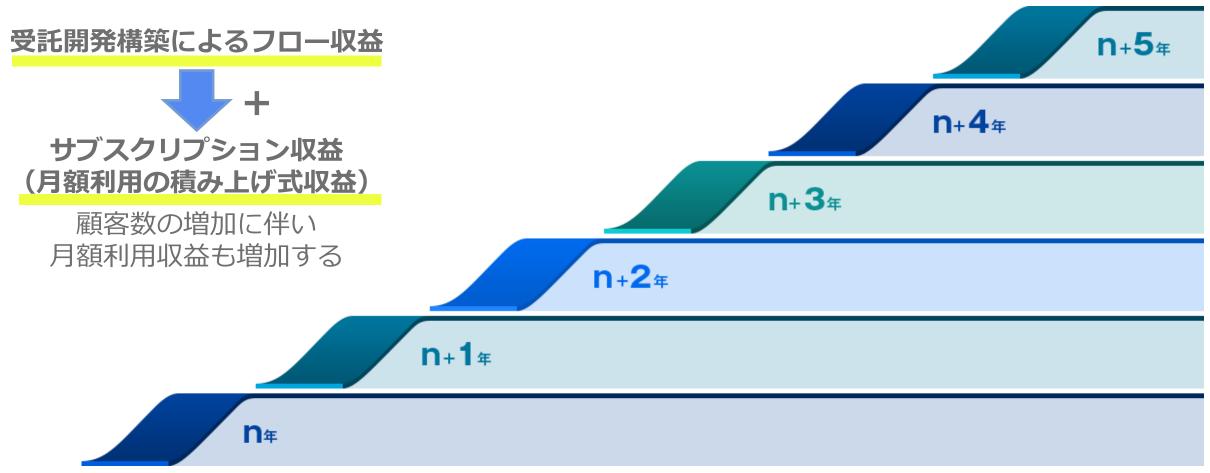
前期を13%上回る

274,611千円を達成 (第3Q累計) 受託開発 受注高

前期を9%下回る

358,282千円で推移 (第3Q累計)

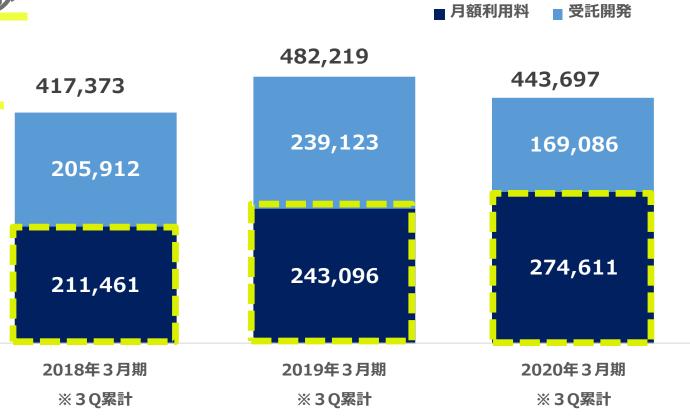
当社の収益構造



売上高実績(前期比)

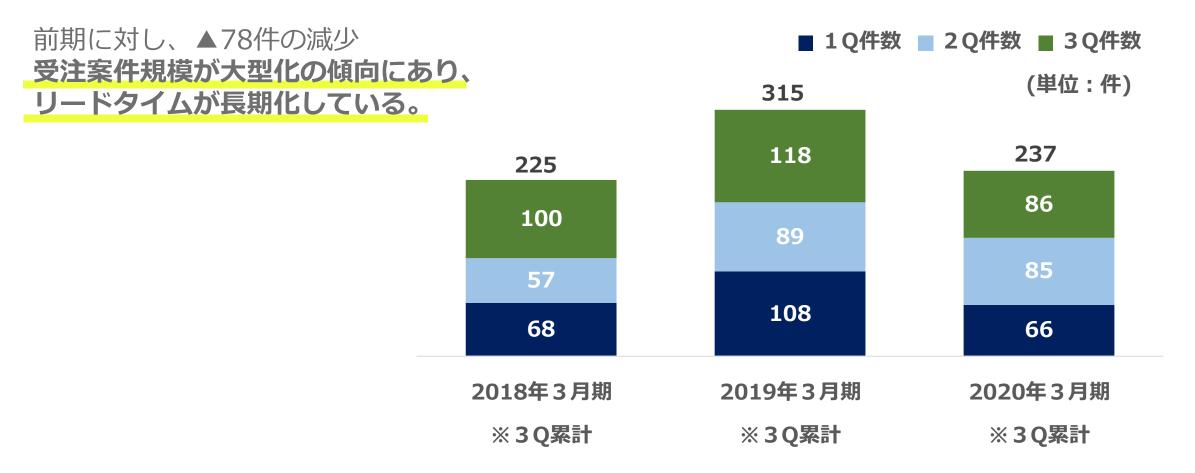
前期に対し、▲38,522千円の減少 (前期比 ▲8.0%)

- ・月額利用料収益は31,515千円の増加 (前期比 +13.0%)
- ・受託開発売上は▲70,037千円の減少 (前期比 ▲29.3%)



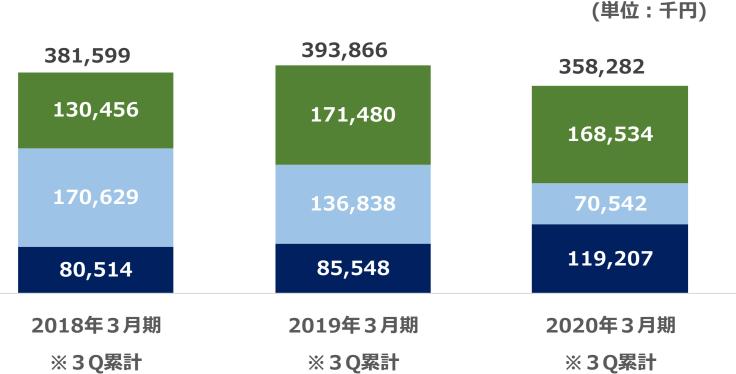
1 ■ 2020年3月期第3四半期決算概況

受託開発売上(納品)件数実績(前期比)



受託開発受注高実績(前期比)

前期に対し、▲35,584千円の減少 **(前期比 ▲9.0%)**



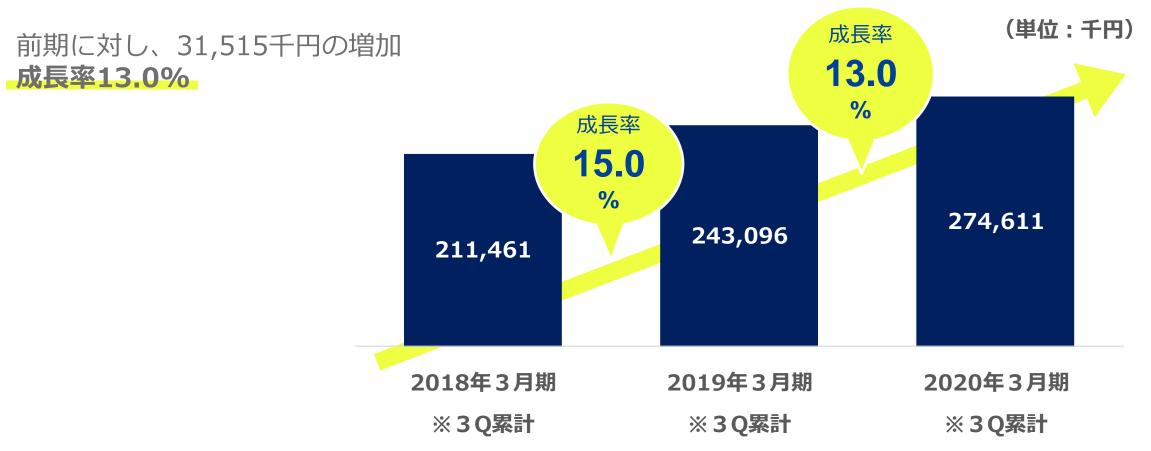
■ 1Q金額

■ 2 Q金額

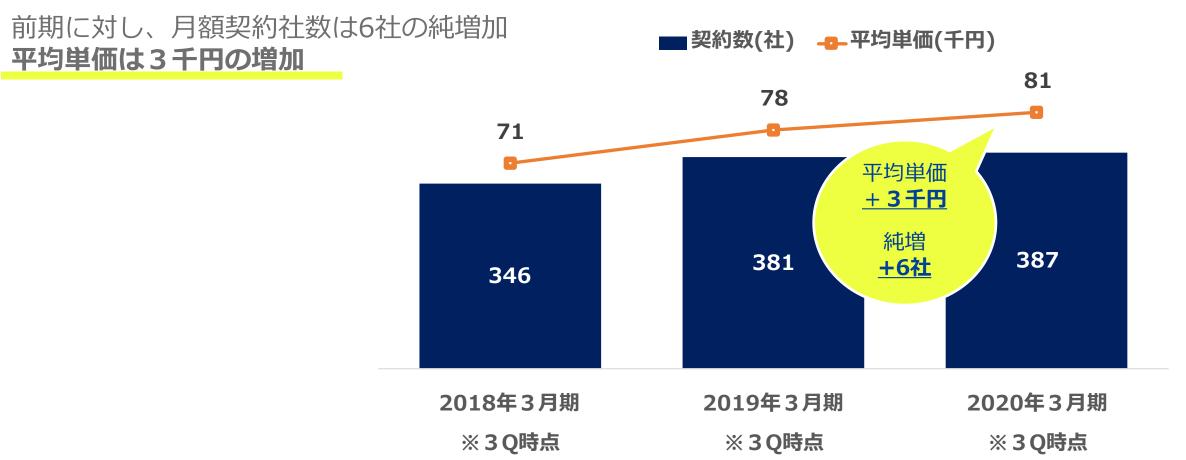
■ 3 Q金額

1 2020年3月期第3四半期決算概況

月額利用収益実績累計(前期比)



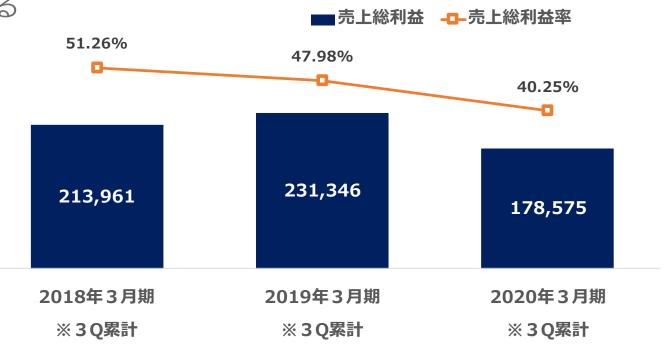
月額契約社数推移(前期比)



売上総利益実績 (前期比)

前期に対し、▲52,771千円の減少**(前期比** ▲**22.8%)**

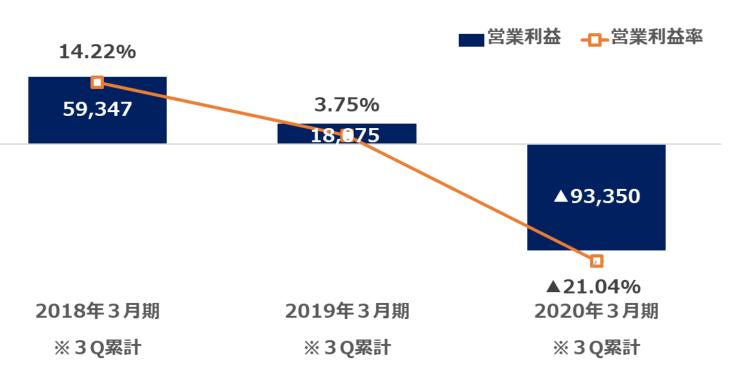
・**売上高の減少**に加え、納期の集中等による 外注費の増大及び仕掛品の減少が主因



営業利益実績(前期比)

前期に対し、▲111,424千円の減少

- ・売上総利益の減少
- ・販管部門人員の増加
- ・採用関連費用の増加
- ・支払報酬等の管理費用増加



SUMMARY #\\ \tau_-

2. SUMMARY BS增減比較

infoNet_®

(千円)		2018年度3Q	2019年度3Q	増減額
流動資産		362,576	820,573	457,997
固定資産		132,373	164,900	32,527
	資産合計	494,949	985,473	490,524
流動負債		123,120	138,681	15,561
固定負債		58,020	93,374	35,354
	負債合計	181,140	232,055	50,915
資本金		53,000	258,620	205,620
資本剰余金		33,000	238,620	205,620
利益剰余金		227,808	256,178	28,370
	純資産合計	313,808	753,418	439,610
	負債・純資産合計	494,949	985,473	490,524

2. SUMMARY PL增減比較

infoNet.

(千円)		2017年度3Q	2018年度3Q	2019年度3Q	増減額
売上高		417,373	482,219	443,697	▲38,522
	CMS事業	417,373	479,261	430,239	▲ 49,022
	AI関連事業	_	2,957	13,457	10,500
売上総利益		213,961	231,346	178,575	▲ 52,771
売上総利益率		51.26%	47.98%	40.25%	▲7.73Pt
営業利益		59,348	18,074	▲ 93,350	▲ 111,424
営業利益率		14.22%	3.75%	▲ 21.04%	24.79Pt
経常利益		58,593	17,750	▲ 100,095	▲ 117,845
経常利益率		14.04%	3.68%	▲ 22.56%	▲26.24Pt
当期純利益		37,803	11,094	▲ 70,151	▲81,245
当期純利益率		9.06%	2.30%	▲ 15.81%	▲18.11pt

3. 予算修正

予算修正

案件の大型化傾向に伴う**受注リードタイムの長期化**および**製作期間の伸長**に伴い、 当期の業績に寄与する受注及び納品状況は低調に推移。 当期はこの傾向は継続することから業績予想を修正しております。

(単位:百万円)

	当初予算	修正予算
売上高	968	786
営業利益	190	4
経常利益	193	0
当期純利益	133	0

当期の受注傾向

- 案件の大型化傾向に伴う受注リードタイムの長期化による受注タイミングの後ろ倒し
- 制作期間の長期化に伴う納期の後ろ倒し

受注タイミング の後ろ倒し

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018年3月期	27,673	9,292	43,549	67,095	56,107	47,428	46,447	68,395	15,614	20,948	10,119	51,768
2019年3月期	39,800	14,638	31,111	42,220	38,227	56,391	19,718	107,371	44,390	25,917	15,480	33,227
2020年3月期	37,053	42,966	39,189	24,437	12,045	34,060	15,817	22,000	130,717	55,322	57,000	-
前年同月比	▲6.90 %	+193.5%	+26.0%	▲42.12%	▲68.49 %	▲39.60%	▲19.79 %	▲79.51 %	+194.5%	+113.5%	+268.2%	-

主に当期の売上に寄与←→主に翌期の売上に寄与

大型案件	件数	合計金額	平均金額	平均制作期間
(10百万円超案件)	(件)	(千円)	(千円)	(日)
2019年3月期	5	74,428	14,886	226.6
2020年3月期	7	135,982	19,426	252.6
差	+2	+61,554	+4,540	+26.0

製作期間 の 長期化



TOPICS
トピックス

AI関連事業 1



音声・テキスト解析AIプラットフォーム 『Repotti』をリリース

- 2
- Chatwork株式会社との販売代理店契約の締結および 『Repotti』と『Chatwork』のシステム連携開始
- 3

サイボウズオフィシャルアライアンスパートナーへ加入 および「Repotti」と「kintone」のシステム連携開始

3. TOPICS AI関連事業



音声・テキスト解析AIプラットフォーム 『Repotti』をリリース

2019 年 12 月 2 日にはユーザーが音声やテキストデータで入力されたコンテンツやデータを AI が解析し、よりタイムリーに、より正確に、より簡単に、お客様の業務管理システム等のデータベースにインプットするプロセスオートメーションソリューションである「Repottil」をリリースしました。



3. TOPICS AI関連事業

infoNet.



Chatwork株式会社との販売代理店契約の締結および 『Repotti』と『Chatwork』のシステム連携開始

ビジネスチャットツール「Chatwork」を提供する Chatwork 株式会社と販売代理店契約を締結するとともに、 「Repotti」と「Chatwork」のシステム連携を開始しました。

- 販売代理店契約の締結により、両社のサービスおよび販売・サポート力を融合・補完
- 「Chatwork」から音声やテキストで入力したデータを「Repotti」が文章解析や意味 理解をおこない、あらゆる業務管理システムヘインプットすることを実現







3. TOPICS AI関連事業

infoNet.



サイボウズオフィシャルアライアンスパートナーへ加入 および「Repotti」と「kintone」のシステム連携開始

サイボウズ株式会社が提供するサイボウズ オフィシャルパートナープログラムの 1 つである、「サイボウズ オフィシ ャル アライアンスパートナー | 契約を締結すると共に、サイボウズ株式会社が提供する業務改善プラットフォーム 「kintone (キントーン)」とシステム連携を開始しました

- ✓ サイボウズ製品の販売をはじめ、サイボウズ製品とのシステム連携が可能となりました
- ✓ システム連携では、スマートフォン等のデバイスから音声やテキストで入力したデータ「Repotti」が文章 解析や意味理解を行い、「kintone」へデータをインプットすることが可能





ONE STOP SERVICE



調查·分析



企画・プロデュース



当社の大きな強み、 それは**ワンストップサービス**。

調査・分析から デザイン・システム開発、 運用サポートまですべて一貫して行い 安定性の高いサービスを提供することで

お客様から絶大なご支持をいただいています。

プラスαの 成果創出へ



効果測定・改善施策



運用サポート

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。

当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。